

三好市の社寺建築

社寺建築班（郷土建築研究会）

橋本 美保^{1*} 黒崎 仁資² 坂口 敏司³ 中野 真弘⁴ 宮田 育典⁵

要旨：三好市の池田町、山城町、西祖谷山村（以降、「西祖谷」）の神社本殿の様式は、全体の半数が流造であり入母屋造が2割であった。本殿の規模は、小社殿が17社で、一間社が62社で過半数と多く、三間社も12社（1割強）見られた。県西部で多く見られる神社組物の直線肘木が確認された。隣県から大工が入り建築された社殿が確認された。寺院は比較的新しい時期に建替えられたものが多い。今回調査したお堂はすべてが閉鎖型で、茅葺を鉄板で巻いた建物が8カ所あった。

キーワード：直線肘木・通肘木、長州大工、讃岐・伊予大工、本殿折屋根、木鼻彫刻

1. はじめに

三好市は徳島県の西部にあり、吉野川の上流を挟むように広がっている。四国の中央に位置し三県と隣接している。

私たち社寺建築班は、平成29年7月31日から延10日間調査に入り、神社98社（池田町38社、山城町33社、西祖谷27社）、寺院12カ寺（池田町8カ寺、山城町3カ寺、西祖谷1カ寺）、お堂39カ所（池田町6カ所、山城町17カ所、西祖谷16カ所）を建築学的見地から調査し、案内図（後掲の図6）を作製し、それぞれの建築年代や構造、建築様式などを一覧表（表1・2）にまとめた。そのうち神社6社については、詳細調査を行い、実測図を作製した。建築年代については、棟札から確認できるもの以外は、建築様式から推察した。なお、今回は調査対象が多く神社においては旧社格で村社以上を中心に調査し、平成10年、15年、19年に調査済みの井川町、三野町、東祖谷山村は対象から外すこととした。

2. 神社建築の概要

今回の調査において、棟札により建築年代が確認できたものは6社あり、そのうち最も古いものは池田町馬路の境宮神社末社の新田神社で、一間社流造銅板葺、見世棚造の簡素な社殿であり、建立年

代は棟札により、寛政3年（1791）と考えられる。その他は江戸末期から明治期に再建されたものであった。

本殿の建築様式は、池田町では小社殿5社を除き、流造は14社に対し入母屋造が17社と多く、向拝に唐破風が付くものが8社見られ、そのうち千鳥破風の付くものが7社あった（図1）。規模は柱間の数で表され、三間社が10社で他の2町村に比べ多く、入母屋造が7社、流造が3社であった。山城町では小社殿が6社、一間社流造が20社あり全体の7割を占め、入母屋造は4社でそのうち1社が三間社であった。西祖谷では小社殿が6社、一間社流造が16社、三間社流造が1社と全体の6割が流造で、屋根は折屋根が7社見られ、そのうち5社が板葺であった。一間社入母屋造は2社で、本殿向拝の木鼻にワニのような口を持つ龍の彫刻が多く、11社で確認できた。

また、3地区20社の社殿が覆屋に囲われており、檜皮葺や板葺社殿が残る要因になったと考えられる。



図1 八幡神社本殿（池田町シンヤマ）

1 遊木民 2 黒崎建設 3 坂口建築設計室 4 真建築都市研究室 5 宮田建築設計工房

* 〒779-5453 三好市山城町下名1132 youbokuminyy@ctm.ne.jp

池田町、山城町、西祖谷の神社建築の特徴として、県西部に多く見られる直線肘木や通肘木は、3地区で31社、そのうち池田町は6割を超える20社であった。四方を切目縁で回し後方45度に隅行脇障子が付くものが18社あり、樽縁は1社見られた。腰組では組物を持つものが17社、腰板に地紋彫が施されたものが4社、浜床は22社と手の込んだ造りが多く見られた。

棟札により、山城町や西祖谷では明治期になって、周辺隣国から大工が入り造営した社殿が点在していることが確認できた。山城町柴川の若宮神社、明治24年（1891）、同町光兼の大日靈神社、明治31年（1898）（図3）は、讃岐国の大工高橋貞造により造営されたものである。同町大和川の河内神社、明治25年（1892）は、伊予国の大工が造営に関わっている。

また、聞き取りによると山口県周防大島より高知県にきた大工（以降、「長州大工」）で、長岡郡大豊町岩原の岩原神社、明治40年（1907）を造営した大工吉金利兵衛の息子大浜英一に弟子入りした町内出身の大工浦辺理盛がおり、同町上名の平賀神社、昭和51年（1976）（図2）同町下名の熊野神社などの造営に携わっている。

『長州大工』という郷土資料には、明治期建立の西祖谷有瀬の三部神社は、長州大工によるものと記されている。



図2 平賀神社拝殿（山城町上名）



図3 大日靈神社本殿（山城町光兼）

3. 寺院建築の概要

寺院は、3地区で12カ寺（池田町8カ寺、山城町3カ寺、西祖谷1カ寺）調査した。戦後再建・改築のものが多かった。『徳島県の近世社寺建築』に掲載されている3件のうち、現存するものは箸蔵寺観音堂のみであるが、本殿をはじめ伽藍の建造物は国の重要文化財に指定されている。また、池田町の蓮華寺方丈（図4）は昭和56年に改築されるが、玄関の組物などに前身の建物の意匠部材が使われている。

聞き取りによると、山城町上名の持性院本堂向拝の彫刻は昭和31年（1956）同町の大工浦辺理盛によるものである。西祖谷の寺院は、吾橋の安楽寺1カ寺で各地区にはお堂が見られる。

お堂は、3地区で39カ所調査した。形式はすべて閉鎖型であった。ほとんどが宝形造の銅板または鉄板葺で、切妻や寄棟が7カ所であった。また茅葺を鉄板で巻いた屋根が、山城町と西祖谷でそれぞれ4カ所見られた。西祖谷有瀬の阿弥陀堂（図5）は、雪に備え縁通りに柱を建て桁を置き軒を深くしていた。

棟札の確認ができたのは9カ所で、すべて明治以降に建替えられたものであった。棟札により、山城町仏子の観音堂は明治16年（1883）伊予国の大工により建てられたことが確認された。



図4 蓮華寺方丈（池田町ハヤシ）



図5 阿弥陀堂（西祖谷有瀬）

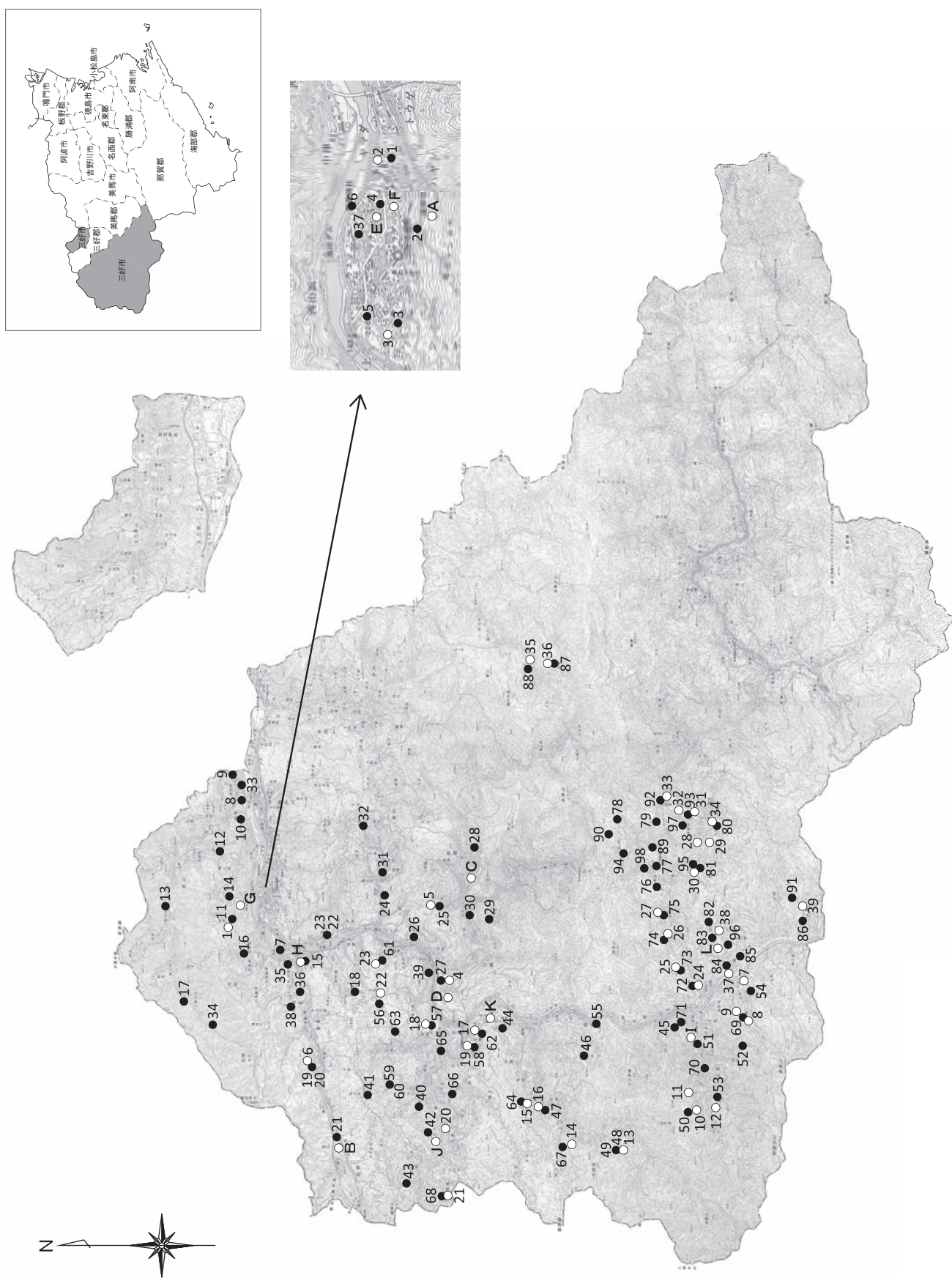


図6 社寺建築案内図 (●神社 ○寺院・お堂)

表 1 神社建築調査一覧表

	神 社 名	鎮 座 地	創 建	祭 神	旧社格	鳥居様式 (材種)
1	寶 神社	たから	三好市池田町字シヤマ768	猿田彦神	旧無格社	しめ掛け石 (花崗岩)
2	杉尾神社	すぎのお	三好市池田町ハヤシ1264	事代主神	旧村社	明神・昭和42年(花崗岩)
3	八幡神社		三好市池田町字シヤマ3582	品陀和気命 ほんだわけ	旧村社	しめ掛け石・昭和5年(花崗岩)
4	医家神社		三好市池田町字マチ2286	大国主命 少彦名神	旧郷社	明神・文久3年(花崗岩)
5	丸山神社		三好市池田町字ウエノ2790		旧無格社	しめ掛け石・昭和2年(花崗岩)
6	諏訪神社		三好市池田町字ウエノ2907-3	建御名方神	旧村社	明神・(銅板葺)
7	八幡神社		三好市池田町字イタノ3317	品陀別命 ほんだわけ	旧無格社	しめ掛け石・明治38年(花崗岩)
8	日吉神社		三好市池田町州津西久保364-2	大山咋尊 おおやまくい	旧無格社	明神・明治3年(花崗岩)
9	八幡神社		三好市池田町州津西久保839	菅田別命 ほんだわけ	旧村社	しめ掛け石・昭和41年(花崗岩)
10	千尋衣神社	ちひろぎ	三好市池田町州津字井間25	天棚機船神 あめのたなばたひめ	旧無格社	しめ掛け石・明治12年(花崗岩)
11	諏訪神社		三好市池田町西山字東内477	建御名方神	旧無格社	明神・明治39年(木製)
12	諏訪神社		三好市池田町西山字3689-2	建御名方神	旧無格社	明神・平成23年(花崗岩)
13	下野神社		三好市池田町西山字中塚1128		旧無格社	しめ掛け石・昭和2年(花崗岩)
14	鎌 神社		三好市池田町西山字3689-2	猿田彦神 天児屋根命 天御中主神 高皇產靈神 神皇產靈神	旧村社	台輪・昭和47年(花崗岩)
15	八幡神社		三好市池田町白地字本名1036-1	応神天皇	旧村社	明神・大正10年(花崗岩)
16	四所神社		三好市池田町白地字馬場495	伊弉諾尊 伊弉冉尊 倉稻魂命 天明玉命 妙見神	旧無格社	しめ掛け石・明治39年(花崗岩)
17	八幡神社		三好市池田町白地字野呂内253	応神天皇	旧無格社	明神・昭和5年(花崗岩)
18	虎子神社	聖姫ひじりこ	三好市池田町白地字コウベ788	宇麻志菰芽彦神 うましあしかびひこじ	旧無格社	明神・昭和12年(花崗岩)
19	境宮神社	荒玉 若宮	三好市池田町馬路字宮の下41	玉瀬命 菟狹津彦命 嚴嶋魂媛命 菅原道真公	旧村社	明神・(花崗岩)
20	新田神社	境宮神社末社	三好市池田町馬路字宮の下41			しめ掛け石・明治37年(花崗岩)
21	佐野神社		三好市池田町佐野町字森常462	天御中主神 玉瀬命 菟狹津彦命 菟狹津彦命	旧村社	明神・(花崗岩)
22	一宮神社		三好市池田町中西フロナクニ1396	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正14年(花崗岩)
23	橘 神社	一宮神社摂社	三好市池田町中西フロナクニ1396			しめ掛け石・大正7年(花崗岩)
24	二宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	猿田彦神 天鈿女命	旧村社	明神・明治42年(花崗岩)
25	藤原神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・大正9年(花崗岩)
26	八幡神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正6年(花崗岩)
27	三所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正14年(花崗岩)
28	藤原神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・明治37年(花崗岩)
29	竹 神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・平成8年(花崗岩)
30	合出神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・平成5年(花崗岩)
31	恵美寿神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和2年(花崗岩)
32	八幡神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・平成17年(花崗岩)
33	池森神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
34	大西神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
35	住吉神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・(花崗岩)
36	三社神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正12年(花崗岩)
37	御嶽神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・大正12、昭和14年(花崗岩)
38	御三嶋神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和9年(花崗岩)
39	伊邪那岐神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・明治40年(花崗岩)
40	若宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・明治40年(花崗岩)
41	杜立神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和51年(銅板葺)
42	四所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・平成15年(花崗岩)
43	高良神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・明治39年(花崗岩)
44	梅宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	・平成16年(木製)
45	高麗神社	こうりょう	三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
46	高崎神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和8年(花崗岩)
47	大日靈神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和59年(花崗岩)
48	八幡神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和3年(花崗岩)
49	大西神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和11年(花崗岩)
50	平賀神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・(木製)
51	白山神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正12年(花崗岩)
52	熊野神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正8年(花崗岩)
53	三所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・平成17年(花崗岩)
54	岩鼻神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正10年(花崗岩)
55	岩本神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和8年(花崗岩)
56	河内神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和17年(花崗岩)
57	石立神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和17年(花崗岩)
58	大蔵神社	おおとし	三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和34年(花崗岩)
59	金比羅神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和35年(花崗岩)
60	創 神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和13年(花崗岩)
61	若山神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和63年(花崗岩)
62	高良神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・平成9年(花崗岩)
63	子守神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
64	白川神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和5年(花崗岩)
65	若宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・(花崗岩)
66	黒崎神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和56年(花崗岩)
67	八幡神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
68	三嶋神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正11年(花崗岩)
69	金比羅神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和3年(花崗岩)
70	金比羅神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和35年(花崗岩)
71	山崎の島神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和13年(花崗岩)
72	有宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
73	三井神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
74	四所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
75	五所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
76	十二所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
77	平崎神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和11年(花崗岩)
78	田中神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正11年(花崗岩)
79	天満神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和34年(花崗岩)
80	三所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和35年(花崗岩)
81	八幡神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和13年(花崗岩)
82	白山神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
83	五所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
84	鈴 神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
85	八坂神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和11年(花崗岩)
86	三所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・大正11年(花崗岩)
87	白山神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和34年(花崗岩)
88	馬岡五社神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和35年(花崗岩)
89	三聖神社	八坂	三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和13年(花崗岩)
90	正統神社	將軍	三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
91	八幡神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
92	五所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和34年(花崗岩)
93	聖 神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和35年(花崗岩)
94	桜 神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和13年(花崗岩)
95	若宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)
96	八坂神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・(花崗岩)
97	六所神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和34年(花崗岩)
98	若宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	しめ掛け石・昭和35年(花崗岩)
99	若宮神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	明神・昭和13年(花崗岩)
参	岩原神社		三好市池田町大和宮平カガ84	天津彦火瓊瓊杵尊 湍姫神 神玉前神 下照姫神	旧村社	台輪・昭和15年(花崗岩)

※池田町史 山城町史 西祖谷山村史 ※徳島県神社誌 ※徳島県の近世社寺建築 ※阿波の寺社建築

A:拝殿木鼻 (前:正面向き 横:横向き)

平成30年 8 月末日現在

本殿 建築様式		拝殿 建築様式 向拝		特 記 事 項	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	棟札
(覆屋)		入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	新改築・昭和59年 大工・中山利夫													
三間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	本殿・大正4年 拝殿・昭和54年 地神塔・明治28年(砂岩) 庚申塔		横											
三間社入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	本殿再建・明治3年 昭和62年 拝殿再建・明治4年	横				●		切	●	●	●		直	
三間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	大正7年 地神塔・文化8年(砂岩)	横	横											
三間社入母屋造	銅板葺	入母屋造	桧瓦葺 向拝/縮破風	本殿修復・平成3年 拝殿・大正5年 改築昭和47年 地神塔・明治4年(砂岩) 庚申塔	横						切	●	●		●		
三間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	本殿建築・明治37年	横	横											
一間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	拝殿建築・昭和59年 地神塔・文政2年(砂岩) 庚申塔							切	●	●				
一間社流造	銅板葺	入母屋造	瓦葺 向拝/入母屋	本殿新改築・昭和59年 地神塔・(砂岩)													直
三間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風 大唐破風	拝殿屋根葺替・昭和55年 拝殿再建・昭和7年									●				直
一間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	瓦葺 向拝/入母屋			横											
一間社流造	銅板葺	入母屋造	瓦葺														直
一間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/入母屋	本殿改修・平成4年 拝殿改築・昭和16年		横											
一間社流造	銅板葺	切妻造	桧瓦葺			横						切	●	●			
一間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風			本殿新改築・昭和47年 本殿改修・平成2年 地神塔・(砂岩)		横											
三間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風	社殿修築・昭和20年 拝殿改築・昭和49年	横		●										
一間社流造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	桧瓦葺	神社修復・昭和54年 地神塔・(砂岩)		横								●	●		
一間社入母屋 檜皮葺 向拝/千鳥破風・軒唐破風 (覆屋)		入母屋造	銅板葺	開閉装置2箇所 拝殿改築・昭和3年 地神塔・明治21年(砂岩)	前	横			●		切	●	●	●			
一間社流造	銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風	入母屋造	銅板葺	拝殿再建・明治24年 屋根改修・昭和51年		横			●		切	●	●				あり
三間社入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風	地神塔・文化4年(砂岩)	横	横											
二間社流造	銅板葺			社殿改築・寛政3年 見世棚													あり
二間社入母屋 銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風		入母屋造	桧瓦葺	拝殿屋根葺替・平成5年 地神塔・(砂岩) 庚申塔	横						切	●	●				
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風		横												
一間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺			横					切	●	●				
三間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風			横											直
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺	本殿改修・平成12年 拝殿屋根修繕・昭和54年 拝殿修繕・昭和63年		横											
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺	地神塔・(自然石) 庚申塔													
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	拝殿改築・昭和37年 屋根葺替・昭和58年	前	横								●			
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	地神塔・大正8年(砂岩) 本殿和釘の修復跡	前	横		●							●	●	
二間社入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風	入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風	地神塔・(砂岩) 鰐杖彫り	横	横		●							●	●	
二間社入母屋造	向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風	修築・昭和23年		横											
小社殿		切妻造	瓦葺 向拝/切妻	地神塔・(砂岩)		横											
(覆屋)		切妻造	銅板葺 向拝/縮破風														
二間社流造	銅板葺	切妻造	鉄板葺 向拝/縮破風			横		●									
二間社流造	銅板葺 向拝/軒唐破風	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	拝殿屋根改修・平成元年 地神塔・明治32年(砂岩)		横			●		切	●	●				
小社殿					前												
二間社流造	銅板葺 (覆屋)			本殿建築・慶應4年 屋根葺替・天保6年	前												あり
小社殿				寛政・平成6年													
二間社入母屋造	銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風	切妻造	銅板葺	建具に「境」の彫刻		横			●		切	●					
小社殿		入母屋造	瓦葺	再建・昭和6年 改修・平成9年													
小社殿				建築・昭和61年													
二間社流造	銅板葺	片入母屋造	向拝/千鳥破風 軒唐破風	地神塔・(砂岩)													
二間社流造	銅板葺 (覆屋)	入母屋造妻入	桧瓦葺 向拝/縮破風	本殿建築・明治24年 拝殿改修・平成16年	前	前				●	切	●	●	●		あり	
小社殿		入母屋造	銅板葺	修築・平成5年													
二間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	瓦 向拝/縮破風	拝殿屋根葺替・平成13年 幣殿改築・平成24年	前	横								切	●	●	
二間社流造	銅板葺	切妻造	瓦葺	拝殿建築・明治39年・昭和25年 本殿修理・昭和55年													
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 千鳥破風	本殿・拝殿修復・昭和62年 地神塔・(砂岩)	横	横					切	●					
二間社流造	板葺 (覆屋)	入母屋造	鉄板葺			横											
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	屋根葺替え・平成14年	前	横		●			●			●	●		
二間社流造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	茅葺銅板巻 向拝/縮破風	本殿建築・明治31年 拝殿階段・大正15年 登録文化財						●	切	●	●	●			
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺 向拝/縮破風		前	横		●									
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺 向拝/縮破風	庚申塔	前	横											
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風	本殿再建・昭和51年	前	横			●					●			
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風		前	横											
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風		前	横											
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	改築・昭和26年	前	横		●						●	●		
二間社入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風	拝殿改修・平成10年	前	前								●	●		
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺		前	横		●						●	●		
二間社流造	檜皮葺 (覆屋)	切妻造	銅板葺 向拝/切妻	本殿建築・明治25年 改修・平成9年 地神塔・明治27年(砂岩) 庚申塔		前						博	●	●	●		あり
小社殿		入母屋造	向拝/縮破風														
二間社流造(折屋根)	鉄板葺	入母屋造	鉄板葺 向拝/縮破風	拝殿改修・昭和26年 地神塔・(砂岩)													
小社殿		切妻造	鉄板葺	拝殿修繕・平成9年 鳥居修繕・平成9年													
小社殿		切妻造	瓦葺			横											
二間社流造	銅板葺 (覆屋)	切妻造	瓦葺	拝殿改築・平成14年													
二間社流造	銅板葺 向拝/縮破風	入母屋造	向拝/千鳥破風 縮破風														
二間社流造	銅板葺 (覆屋)	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	社殿建築・昭和63年													
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/縮破風	宮殿再建・明治26年 地神塔・(砂岩) 大工・讀波		横					切	●	●	●			
小社殿		入母屋造	鉄板葺	地神塔・(砂岩)													
小社殿				庚申塔・(砂岩)													
二間社流造	銅板葺	入母屋造	茅葺銅板巻	地神塔・(砂岩)		前											
二間社流造	銅板葺																
二間社入母屋造	向拝/縮破風 (覆屋)	切妻造	鉄板葺			横											
二間社入母屋造	向拝/縮破風 (覆屋)	切妻造				前											
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/切妻	地神塔・大正4年(砂岩)													
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺	地神塔・(砂岩)	横	横								●			
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺	地神塔・(砂岩)													
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺	地神塔・元禄13年 安政6年(権札) 地神塔・自然石	横	横		●		●				●			あり
二間社流造	鉄板葺	入母屋造	鉄板葺	昭和31年	横	横		●									直
二間社入母屋造	銅板葺 向拝/軒唐破風 (覆屋)	入母屋造	鉄板葺	拝殿新築・昭和5年	横	横		●		●		切	●	●	●	●	直
二間社流造(折屋根)	板葺 (覆屋)	入母屋造	銅板葺	拝殿新築・昭和5年	横	横		●	●	●							
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺	地神塔・明治26年(砂岩) 八坂・若宮を合祀 地神塔・昭和15年(砂岩)	横	横		●						●			
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺	拝殿・幣殿改修・昭和28年	横	横		●									
二間社流造	銅板葺	入母屋造	鉄板葺			横											
二間社流造	銅板葺 (覆屋)	入母屋造	鉄板葺 向拝/切妻		前	横		●				切	●	●	●		直
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺 向拝/大唐破風														
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺	屋根葺替え・昭和56年		横		●									
小社殿		入母屋造	鉄板葺														
二間社流造	銅板葺 向拝/軒唐破風 (覆屋)	入母屋造	銅板葺	屋根葺替え・平成21年		横				●	●			●	●		
二間社流造	銅板葺	入母屋造	銅板葺	改修・平成5年		横		●									
二間社入母屋造	銅板葺 向拝/軒唐破風	入母屋造	鉄板葺	神社修復・昭和53年 地神塔・明治10年(砂岩)		横		●		●		切	●	●	●		
二間社流造	(折屋根) 板葺 (覆屋)	入母屋造	銅板葺	見世棚造 三聖・八坂・若宮を合祀 地神塔・昭和15年(砂岩)		横		●									
二間社流造	(折屋根) 鉄板葺 見世棚	入母屋造	鉄板葺 向拝/切妻	拝殿・幣殿改修・昭和28年		横		●									
二間社流造	(折屋根) 鉄板葺	入母屋造				前		●									
小社殿																	
小社殿																	
二間社流造	(折屋根) 板葺 (覆屋)	入母屋造	鉄板葺	庚申塔・(砂岩)											●		
小社殿		入母屋造	鉄板葺	本殿・拝殿新築・昭和61年													
小社殿		二間社流造	銅板葺	見世棚造													
小社殿	銅板葺 向拝/千鳥破風 軒唐破風			見世棚造 明治10年	前												

B:本殿木鼻 (まへ:正面向き 横:横向き) C:ワニのような口を持つ龍の木鼻 D:虹梁卷き龍彫刻 E:唐破風付本殿 F:彩色 G:四方縁(切:切目縁 博:博縁) H:45° 隅行脇障子 I:浜床 J:腰組 K:地紋掘 L:直線肘木(直:切りっ放し)

表 2 寺院・お堂建築調査一覧表

平成30年 8 月末日現在

	寺院名	所在地	宗派	建物名 屋根形式 屋根材	特 記 事 項	A	棟札
A	蓮華寺	三好市池田町ハヤシ1209	真言宗	本堂：宝形造 瓦葺 向拝/大唐破風 鐘楼：入母屋造 瓦葺 山門：宝形造 向拝/唐破風 方丈：入母屋造 銅板葺 向拝/千鳥破風付緋破風	本堂 文久 3 年再建		
B	青色寺	三好市池田町佐野初作517	真言宗	本堂：入母屋造 瓦葺 向拝/緋破風 鐘楼：入母屋造 瓦葺	本堂建築・平成5年 鐘楼建築・平成13年 駅路寺		
C	光明寺	三好市池田町松尾松本55	真言宗	本堂：入母屋造 銅板葺 向拝/緋破風 大師堂：入母屋造 銅板葺 向拝/緋破風			
D	正賢寺	三好市池田町川崎重兼520	浄土真宗	本堂：入母屋造 銅板葺 向拝/緋破風 鐘楼門：入母屋造 瓦葺			
E	浄光寺	三好市池田町マチ2257	真宗本	本堂：入母屋造 銅板葺 向拝/緋破風 鐘楼：切妻造 瓦葺 薬医門：切妻造 瓦葺	本堂再建・昭和57年		
F	桂林時	三好市池田町サラダ1704	臨済宗	本堂：入母屋造 瓦葺 鐘楼：入母屋造 瓦葺 薬医門：切妻造 瓦葺	鐘楼・昭和22年 鐘・文政8年		
G	密厳寺	三好市池田町西山佐古3798	真言宗	本堂：入母屋造 瓦葺 鐘楼門：切妻造 瓦葺 鐘楼：入母屋造 瓦葺	本堂改修・昭和49年 方丈建築・平成8年		
H	八幡寺	三好市池田町白地本名1037	真言宗	本堂：入母屋造 銅板葺 鐘楼門：入母屋造 瓦葺	本堂改築・昭和53年 屋根改修・平成13年 庚申塔・元禄11年		
I	持性院	三好市山城町上名1514	真言宗	本堂：入母屋造 銅板葺 向拝/緋破風	拝殿改修・昭和30年 彫刻・浦辺理盛		
J	長福寺	三好市山城町大月297	真言宗	本堂：宝形造 向拝/緋破風 鐘楼門：入母屋造 銅板葺			
K	圓明寺	三好市山城町国政619	真言宗	本堂：入母屋造 銅板葺 向拝/千鳥破風 鐘楼：入母屋造 銅板葺			
L	安楽寺	三好市西祖谷山村上吾橋160	真言宗	本堂：入母屋造 銅板葺 向拝/緋破風 鐘楼門：入母屋造 銅板葺			
1	洞草薬師堂	三好市池田町西山洞草		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風	手水・文政13年 灯籠・天保13年		
2	島大師堂	三好市池田町シマ753		お堂：宝形造 鉄板葺 向拝/緋破風	改修・昭和3年 庚申塔・寛文10年		
3	細野大師堂	三好市池田町シンヤマ3510		本堂：宝形造 銅板葺	本堂改築・平成8年		
4	阿弥陀堂	三好市池田町川崎寺の上		お堂：宝形造 瓦葺 向拝/緋破風	改築・平成23年、昭和8年、安政4年 茅葺替・大正2年		あり
5	地藏庵	三好市池田町大利字大西		お堂：切妻造 瓦葺	庚申塔・嘉永4年		
6	お宮の庵	三好市池田町馬路宮ノ下		お堂：宝形造 銅板葺	庚申塔・嘉永4年		
7	薬師堂	三好市山城町下名784		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風			
8	阿弥陀堂	三好市山城町下名1574		お堂：宝形造 鉄板葺	棟札・昭和32年 屋根修理・平成3年		
9	観音堂	三好市山城町下名1425		お堂：宝形造 鉄板葺	再建・明治35年 屋根葺替・昭和33年		あり
10	阿弥陀堂	三好市山城町上名263		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風	縁改修・平成15年 庚申塔		あり
11	薬師堂	三好市山城町上名381		お堂：宝形造 鉄板葺	屋根瓦葺・昭和14年		
12	観音堂	三好市山城町上名羽瀬2115		お堂：宝形造 鉄板葺 向拝/緋破風	庚申塔・寛政10年（砂岩） 鰯口・天明2年		
13	観音堂	三好市山城町栗山		お堂：宝形造 鉄板葺 向拝/緋破風			
14	観音堂	三好市山城町仏子堂ノ床		お堂：宝形造 茅葺鉄板巻 向拝/緋破風	再建・明治16年 屋根葺替・昭和12年、昭和45年	●	あり
15	釈迦堂	三好市山城町白川寺内		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風	手水・明治19年（砂岩）		
16	観音堂	三好市山城町光兼宮ノ本		お堂：宝形造 茅葺鉄板巻 向拝/緋破風	屋根葺替・昭和43年	●	
17	阿弥陀堂	三好市山城町末貞横畠		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風			
18	地藏堂	三好市山城町大川持明神の東		お堂：宝形造 銅板葺	改築・平成12年		
19	近江堂（観音堂）	三好市山城町引地263		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風	棟札・慶安2年、享保5年、天保12年 明治13年、昭和30年、平成11年		あり
20	阿弥陀堂	三好市山城町信正字小入道		お堂：宝形造 茅葺銅板巻 向拝/緋破風	地神塔	●	
21	茂地堂	三好市山城町茂地字茂地		入母屋造 茅葺鉄板巻 出桁	半鐘・弘化5年	●	
22	観音堂	三好市山城町大和川		お堂：宝形造 銅板葺			
23	地藏堂	三好市山城町若山ヒガシ		お堂：切妻造 瓦葺	庚申塔・天明2年		
24	阿弥陀堂	三好市西祖谷山村徳善		お堂：宝形造 銅板葺	屋根葺替・昭和4年？		
25	阿弥陀堂	三好市西祖谷山村後山		お堂：宝形造 鉄板葺	昭和48年		
26	阿弥陀堂	三好市西祖谷山村尾井ノ内		お堂：宝形造 鉄板葺			
27	薬師堂	三好市西祖谷山村戸ノ谷		お堂：宝形造 鉄板葺	焼失改修・昭和42年 改築・平成11年		
28	薬師堂	三好市西祖谷山村冥地		お堂：宝形造 茅葺鉄板巻	棟札・安永8年、寛政9年、 宝暦3年、6年、延宝1年 地神塔・大正5年（砂岩）	●	あり
29	大師堂	三好市西祖谷山村重末		お堂：宝形造 銅板葺			
30	阿弥陀堂	三好市西祖谷山村重末		お堂：宝形造 鉄板葺	天保12年 修復・昭和53年		あり
31	薬師堂	三好市西祖谷山村善徳西ノ東		お堂：寄棟造 鉄板葺			
32	大師堂	三好市西祖谷山村善徳西ノ東		お堂：宝形造 茅葺鉄板巻	阿弥陀堂再建・嘉永2年、明治21年 屋根葺替・昭和22年、昭和54年	●	あり
33	薬師堂	三好市西祖谷山村善徳東ノ東		お堂：宝形造 鉄板葺	鰯口・昭和63年		
34	薬師堂	三好市西祖谷山村今久保		お堂（観音堂？）：宝形造 銅板葺	棟札・寛永6年、明治23年		あり
35	地藏堂	三好市西祖谷山村小組谷		お堂：宝形造 茅葺鉄板巻		●	
36	薬師堂（大師堂）	三好市西祖谷山村小組谷坂瀬		お堂：宝形造 スレート葺			
37	阿弥陀堂	三好市西祖谷山村榎		お堂：宝形造 銅板葺 向拝/緋破風			
38	毘沙門天堂	三好市西祖谷山村吾橋		お堂：宝形造 銅板葺			
39	阿弥陀堂	三好市西祖谷山村有瀬		お堂：寄棟造 茅葺鉄板巻 出桁	縁板張替、屋根塗替・平成25年 地神塔 庚申塔	●	

※池田町史 山城町史 西祖谷山村史 ※徳島県の近世社寺建築 ※阿波の社寺建築 ※三好郡のお堂 ※A 茅葺き屋根（銅板、鉄板材包）

4. 三好市の各社寺建築

1) 境宮神社 末社 新田神社 (表1-20)

鎮座地 - 池田町馬路字宮の下41

[新田神社本殿] 木造 一間社流造 (見世棚造)

銅板葺
 身舎 - 八角柱 腰貫 腰長押 内法長押 舟肘木
 妻飾・虹梁 束 一軒繁垂木 開閉装置
 板戸
 向拝 - 角柱 (角面) 虹梁型頭貫木鼻 (象) 出三斗
 中備 蓼股 (菊水) 繫海老虹梁 二軒繁垂木
 見世棚 青石基壇・礎石 (緑色片岩)
 千木 - 2本 堅魚木 - 2本

(図7~11)

この社は、三好市の北西部、愛媛県境の池田町馬路、境宮神社の末社で、本殿 (明治24年建立) の西に並んで鎮座する。伊予 (愛媛県) 柴生村の新田社の分霊を祀る。一間社流造銅板葺で青石基壇の礎石に載る。

身舎は、八角柱を腰貫、腰長押と内法長押で固め、柱頭部には丸みの無い舟肘木で軒桁を受ける。妻飾は、虹梁で下端部に結綿付きの束が載る。軒は一軒繁垂木とする。開閉装置は板戸を吊る (図7, 8, 10)。

向拝は、角面の角柱を虹梁型頭貫で固め、象木鼻が付く。柱頭部の組物は、出三斗とし繫海老虹梁で身舎と繋ぎ、中備には菊水の彫刻を施した蓼股を填める。軒は二軒繁垂木とする (図9)。身舎正面、内法長押の下は板壁とし、向拝柱通りまで見世棚が付く。向拝の前には、大きな青石が平たく層に積まれている (図10)。



図7 本殿全景



図8 繫海老虹梁 妻飾 虹梁



図9 向拝組物

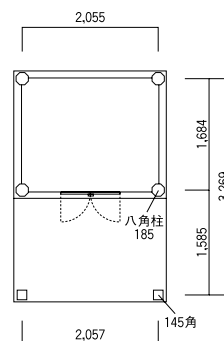


図10 平面図



図11 棟札
中央: 建立寛政3年

建立年代は、神社所有の棟札記録と棟札より、寛政3年 (1791) と考えられる。大工は、井窪 (いのくぼ) の重兵衛、小工は馬路の折助、豊太である。その後の記録では、享和3年 (1803)、文政3年 (1820)、天保3年 (1832)、万延元年 (1860) に屋根葺替えを行っている (図11)。葺替えに併せて屋根下地や軒、向拝木鼻や繫海老虹梁などが後補により更新されたと推測されるが、向拝の虹梁や身舎妻飾の虹梁などには、建立当時の絵様を見ることが出来る。規模が大きく間口の広い一間社見世棚造の神社本殿は、県内では数が少なく、簡素であるが江戸後期頃の建築様式を残している貴重な社殿である。

2) 若宮神社本殿 (表1-40)

鎮座地－山城町柴川クスノサコ981

[本殿] 木造 一間社流造 銅板葺

身舎えんばしら－円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻(拳)
 台輪だいわ 出三斗 隅鬼斗すみおにと 詰組つめぐみ 中備彫刻(正面夫婦鷹, 側面龍・獅子, 背面蛇・亀) 彫刻
 板支輪(波に千鳥・鯉) 一軒繁垂木 妻飾・
 虹梁たいへいつかおいがた 大瓶束笈形(波・雲) 付 開閉装置
 棧唐戸さんからど

向拝一角柱きちようめん (几帳面) 虹梁型頭貫木鼻(獅子) 皿斗 出三斗 中備彫刻(龍と虎) 手挟 二軒繁垂木 四方切目縁 刳高欄 隅行脇障子(彫刻: 龍) 階五級(木口) 昇擬宝珠高欄(彫刻: 龍) 床 腰組 隅肘木 薄台輪 大斗 出組 隅鬼斗 詰組 中備彫刻(橋・翁・獅子・鹿・鳥) 彫刻板支輪(鯉) 腰 目透縦格子張青石基壇(緑色片岩)

千木－2本 堅魚木－2本無

(図12～18)

この社は、三好市の中西部の山城町柴川に鎮座する。本殿は、一間社流造銅板葺で、青石基壇に載る。身舎は、土台の上に円柱を建て、切目長押と内法長押で固め、柱頭部は木鼻付きの頭貫と台輪が載り、組物は出三斗とする。柱間には、波の彫刻が施された頭貫が回り詰組、中備彫刻を詰め、軒裏は彫刻板支輪とする。妻飾は、虹梁に大瓶束(結綿: 鬼の彫刻)笈形付が載り棟木を支える。軒は一軒繁垂木とする。開閉装置は棧唐戸で、身舎柱との間には彫刻(鯉の滝昇り)が施される(図12, 13, 14, 17)。向拝は、几帳面の角柱を建て、虹梁型頭貫で固め木鼻が付く。柱頭部は、皿斗と出三斗で構成され、中備彫刻を詰める。すこしユーモラスな木鼻の獅子や、中備の龍と虎の彫刻が印象的である。身舎との繋ぎには、彫刻の施された手挟(彫刻: 若葉)が付く(図16)。縁は、四方切目縁で刳高欄を回し、隅行脇障子(龍に仙人が乗る)が付く(図17)。階は五級の木口階段で昇擬宝珠高欄がつき、正面から側面身舎通りまで浜床を張る。腰組は、身舎柱から斜めに肘木を出し薄台輪を回して木鼻付出組とする。詰組と中備彫刻を配し平三斗上の肘木で縁葛を支え、縁裏に彫刻板支輪を回す。腰は、細い目透縦格子を張る

(図18)。特徴的な向拝木鼻や中備彫刻をはじめ、全体に細かい彫刻などの意匠が随所にみられる社殿である。建立年代は、棟札により明治24年(1891)と考えられる。棟札には、讃岐国豊田郡中姫村、棟梁大工高橋貞蔵、小工高橋品八、全工大喜多仁平、全工石川仁平、讃岐国丸亀檜皮師金子庄吉と記されている。このことから、建立当初は、檜皮葺きであったと推測できる。また、同町光兼の大日雲神社も、棟札より明治31年に大工高橋貞蔵により建てられたものとされる。近代に入り人や物の流通が盛んになり始めた頃、山城町において隣りの讃岐国(現在の香川県)の大工が入り、社殿造営に関わったことがわかる貴重な遺構といえる。



図12 本殿全景



図13 本殿正面



図14 妻飾 虹梁



図15 脇障子



図16 向拝 木鼻(獅子)

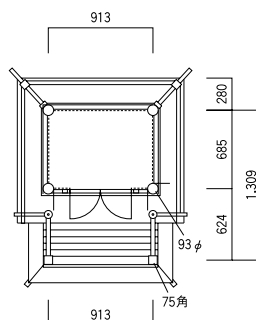


図17 平面図



図18 四方切目縁腰組

3) 河内神社本殿 (表1-56)

鎮座地 - 山城町大和川田中666

[本殿] 木造 一間社流造 檜皮葺

身舎 - 円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻 (獅子, 獏, 象) 台輪留 三手先 詰組 中備彫刻 (獅子) 二軒繁垂木 妻飾・虹梁 出組 二重虹梁 蕪懸魚 開閉装置 棧唐戸

向拝 - 角柱 (几帳面) 虹梁型頭貫木鼻 (獅子) 皿斗 出三斗 中備彫刻 (龍) 手挟 二軒繁垂木 四方樽縁 擬宝珠高欄 隅行脇障子 (透彫) 階四級 (木口) 昇擬宝珠高欄 腰組 亀腹 地覆 束 台輪 二手先 腰板 (地紋彫) 彫刻板支輪 (雲) 中備彫刻 浜床 青石基壇 (緑色片岩)

千木 - 2本 (欠落) 堅魚木 - 2本

(図19~22)

この社は、山城町の北東部、大和川田中に鎮座する。

本殿は、一間社流造檜皮葺で、青石の切石基壇に建つ。身舎は、円柱を切目長押と内法長押で固め、柱頭部は頭貫 (獅子, 獏, 象) と台輪が載る。組物は三手先とし、柱間に詰組を配し通肘木に連斗を載せる。妻飾は、虹梁の上に出組の組物を載せ、二重虹梁を受け出三斗の組物で棟木を支える。軒は二軒繁垂木とし、破風には蕪懸魚が取り付く。開閉装置は棧唐戸で彫刻を填める (図19, 20)。

向拝は、几帳面の角柱を建て、虹梁型頭貫で固め獅子の木鼻が付く。柱頭には、皿斗に出三斗の組物で丸桁を支え手挟が付く。中備彫刻には龍を填める。縁は、一枚板の樽縁を四方に回し、擬宝珠高欄が隅行脇障子 (獅子の彫刻) に取り付く。階は、四級の木口階段で、昇擬宝珠高欄がつき浜床を張る。腰組は、木製の亀腹に地覆と台輪で縁束を固め、束の間の腰板は地紋彫とする。二手先の組物に、彫刻板支輪 (雲) で縁葛を受ける。

今回の調査において、檜皮葺が確認できたものはこの社だけで、覆屋で囲われ保存状態も良好であった。棟札調査で、建立年代は明治25年 (1892) 大工

宇摩郡金田村 (現在の愛媛県) の鈴木□蔵と、三好郡加茂野村の桂萬吉 (先の調査の棟札により、美馬町丸山の杉尾神社本殿、明治35年 (1902) の造営に関わった大工である) と記されている。この棟札からも当時の職人の交流が伺える。本殿は全体に禅宗様の様式が色濃く、明治期に流行した組物や彫刻が、賑やかな意匠となっており、近代の特色ある社殿である。



図19 本殿正面



図20 本殿 三手先組物



図21 本殿 腰組

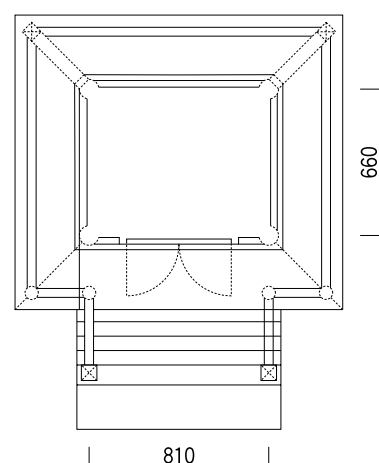


図22 平面図

4) 四所神社本殿(表1-74)

鎮座地－西祖谷後山289

〔本殿〕木造 一間社流造 板葺折屋根

身舎－円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻(拳)

出三斗 中備彫刻墓股 一軒繁垂木

妻飾・束(円) 縦板張 燕懸魚

開閉装置 板戸

向拝－角柱(几帳面) 虹梁型頭貫木鼻(龍) 出三

斗連斗付 中備彫刻墓股 繫海老虹梁 一軒

繁垂木 三方切目縁 勿高欄 脇障子(板)

階三級(木口) 昇擬宝珠高欄 腰組 束立

貫 浜床 青石基壇(緑色片岩)

千木－無し 堅魚木－無し

(図23～26)

この社は、西祖谷の南西部、国見山の南斜面に鎮座する。

本殿は、覆屋に囲われ、一間社流造大和葺の折屋根とし、乱積の青石基壇に載る。身舎は、円柱を切目長押、内法長押と^{こぶしばな}拳鼻付きの頭貫で固める。柱頭部に^{やまとぶき}出三斗の組物が載り、柱間には中備彫刻墓股を填める。妻飾は、結綿のついた円束を立て、板を張り簡素な仕上げとする。軒は一軒繁垂木とし、開閉装置は板戸を填める(図23、25)。

向拝は、几帳面の角柱を建て、虹梁型頭貫で固め龍の木鼻が付く。木鼻の龍はワニのような口に特徴があり、東祖谷においても見られた形態である。柱頭部は出三斗で軒を深くし連斗の付く組物で構成される。中備彫刻には墓股を填め、繫海老虹梁で身舎と繋ぐ。軒は一軒繁垂木である。縁は三方切目縁で勿高欄を回し、身舎背面筋の脇障子(板)に取り付く。階は三級の木口階段で、昇擬宝珠高欄がつき浜床を張る。腰組は、土台を回し束を立て貫で固める(図24)。

神式や仏式の複数の棟札が保存されており、建築年代は安政6年(1859)と考えられる。大工は山城谷光未(兼)の藤原好太良と記されている。簡素に仕上げられているが、身舎正面、向拝組物、丸桁と中備墓股には彩色の痕跡が見られ、様式から向拝の柱や虹梁型頭貫、龍の木鼻よりも古いものと考えられる。安永6年(1777)の棟札が見られることから、前身の社殿(安永期)の部材を用いたものと推測される。江戸後期の様式が見られる貴重な社殿である。

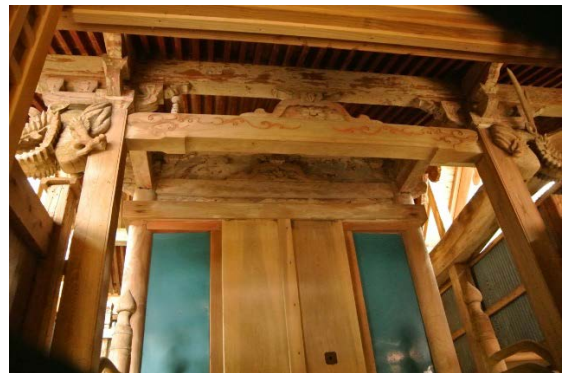


図23 本殿正面



図24 本殿 木鼻(龍)



図25 折屋根 大和葺

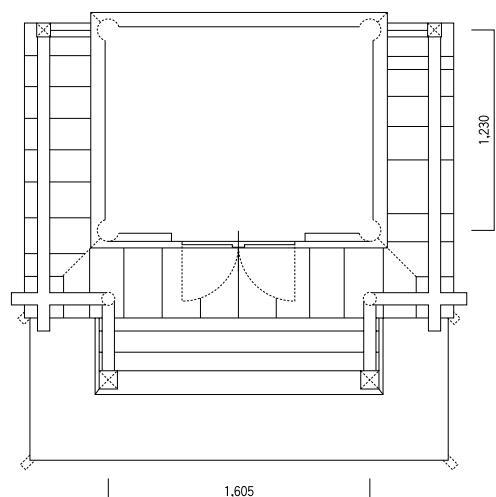


図26 平面図

5) 三部神社本殿 (表1-86)

鎮座地 - 西祖谷有瀬870

[本殿] 木造 一間社流造 柿葺 ^{こけらぶき} 向拝 軒唐破風
身舎一円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻 (獅子, 獏, 象) 二手先 中備彫刻 彫刻板支輪
二軒繁垂木 妻飾・彫刻墓股 開閉放置 板戸 (引分)

向拝一角柱 (几帳面) 虹梁型頭貫木鼻 (獅子) 出
三斗中備彫刻 (獅子) 繫海老虹梁 手挟
^{うの けどおし} 兎毛通 (菊) 二軒繁垂木 三方切目縁 擬
宝珠高欄 脇障子 (透彫) 階三級 (木口)
昇擬宝珠高欄 腰組 (平三斗, 彫刻) 東立貫
浜床 青石基壇 (緑色片岩)

千木 - 不明 堅魚木 - 不明

(図27~30)

この社は、三好市の南部、高知県境に近い山腹に鎮座する。西祖谷山村村には寛永五年 (1628) 創設と記されており、素戔鳴命他六神を祭神とする。

本殿は、覆屋の中にあり、一間社流造柿葺で、向拝には軒唐破風が付き、青石の切石基壇に載る。身舎は円柱を切目長押と内法長押で固め、柱頭部は頭貫木鼻 (獅子, 獏, 象) と二手先の組物が載る。柱間には、中備彫刻 (龍, 鳳凰など) を填め、軒裏は、彫刻板支輪とする。妻飾は、上部の斗と彫刻墓股の間に、2段の三斗を填める。軒は二軒繁垂木とし、開閉装置は板戸で引分とする (図27, 28)。

向拝は、几帳面の角柱を建て、虹梁型頭貫 (獅子) で固め、柱頭部は出三斗が載る。中備彫刻には獅子と牡丹を填め、虹梁の上に太瓶束笈型付が載り、軒唐破風の棟を支える (図29)。軒先には菊の彫刻の兎毛通が付く。縁は、三方に切目縁を回し、擬宝珠高欄が脇障子 (透彫) に取り付く。階は、三級の本口階段で、彫刻された昇擬宝珠高欄がつき、浜床を張る。腰組は、束を立て台輪の上に平三斗を載せ縁を受ける。束の間には波の彫刻を填める。本殿全体に華やかな彫刻が施されており、彩色の痕跡も見られる。

今回の調査では、棟札などによる建築年代の確認はできなかったが、様式から明治期の建物と推測される。この社は、『長州大工』のなかで、長州大工により造営された社殿と記されている。柱頭部に巻き付いた龍や賑やかな彫刻など、長州大工の特徴的な意匠が見られることから、棟札等による今後の調査に期待したい。



図27 本殿正面



図28 本殿妻飾



図29 向拝正面

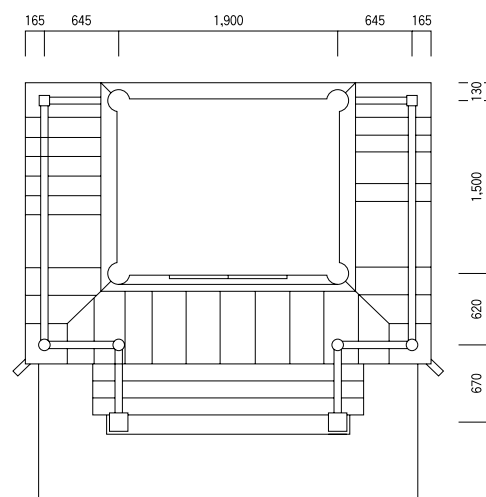


図30 平面図

6) 白山神社本殿(表1-87)

鎮座地－西祖谷坂瀬137

[本殿] 木造一間社流造 銅板葺

身舎－円柱 切目長押 内法長押 頭貫木鼻(拳)

台輪留 出三斗 中備墓股 一軒繁垂木

妻飾・大虹梁 大瓶束

開閉装置 板戸

向拝－角柱(几帳面) 虹梁型頭貫木鼻(龍)

出三斗連斗付 墓股 繫海老虹梁 三方切目

縁 高欄(角柱) 脇障子(板無し) 階(板)

腰板張 青石基壇(緑色片岩 乱石積)

千木－2本 堅魚木－2本

(図31～34)

この社は、三好市西祖谷の東部に位置し、四国山地の烏帽子山西斜面中腹に鎮座する。徳島県神社誌には「創祀年代不詳であるが、宝永7年(1710)の棟札に「奉再興白山権現」とある。」と記述されている。

本殿は、一間社流造銅板葺で、乱積の青石基壇に載る。身舎部分は、円柱を切目長押と内法長押で固め、柱頭部には拳鼻付の頭貫と台輪が載る。組物は、出三斗とする。柱間には墓股を填める。軒は一軒繁垂木とし、妻飾は大虹梁を置き、大瓶束を載せ棟木を支える(図32, 33)。開閉装置は板戸を填める。

向拝は、几帳面の角柱を建て、虹梁型頭貫で固め、木鼻には、東祖谷の調査で確認されたワニのような口をした龍が付く。柱頭部の組物は、連斗付出三斗

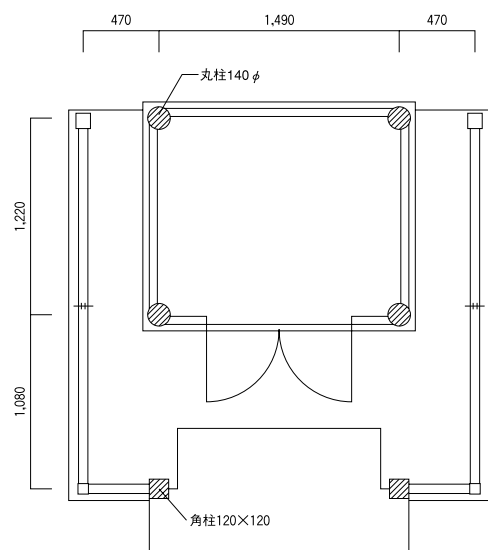


図31 平面図

とし、柱間には彫刻墓股を填める。繫海老虹梁で身舎と繋ぐ(図34)。縁は、三方切目縁で、正面は向拝柱まで縁板を伸ばし、柱間を切り込み板階段とする。高欄は隅に角柱を立てた簡素なものである。身舎背面柱筋に脇障子を付けるが、額縁板は無い。腰は板張りとする。身舎、向拝ともに組物から上部は、彩色の痕跡があり、創建時は華やかなものであったと思われる。

建築年代は、虹梁や墓股の彫刻から江戸後期の建立と考えられるが、棟札の調査が行えず確定はできない。縁廻りについては、後補によるものである。



図32 全景



図33 身舎妻飾



図34 向拝

5. おわりに

今回の調査から、三好市の3地区の神社建築では、地理的に四国3県と隣接しており、江戸末期から近代にかけて隣県から大工が入り、地元大工と共にその造営に関わったことが伺えた。それぞれの大工が残した社殿には、特徴的な向拝木鼻などの意匠を見ることができる。長州大工と長州大工の流れを汲む地元大工により造られた龍の木鼻や、讃岐国や伊予国の大工の関わった少しユーモラスな獅子の木鼻など多様なものであった。西祖谷では、ワニのような口を持つ龍が特徴的で、先の調査において東祖谷でも6社確認されている。

池田町で多く見られた三間社入母屋造の代表的な社殿には、池田町マチの医家神社があり、「徳島県の近世社寺建築」に詳しく記載されている。

地神塔^{じじんとう}は3地区の神社境内にあり、全体の3割弱の27カ所で確認できたが、そのうち西祖谷では4カ所と少なかった。また山城町で1カ所、西祖谷で2カ所であるが、お堂で地神塔を確認した。

今回の調査を通して、山間部集落は高齢化や過疎化が進み、社寺やお堂を維持していくことが困難な状況にあることを痛感した。

なお現地調査にあたり、神社、寺院の関係者、住民の方々のご協力を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。

参考文献

- 池田町史編さん委員会 (1983) : 『池田町史上・中巻』 池田町。
堀川 弘 (2006) : 『山城町五十年史』 山城町。
山城町 (1999) : 『続山城町史』 町長 西 徹。
田村 正 (1969) : 『三名村史』 山城町役場。
西祖谷山村史編さん委員会 (1985) : 『西祖谷山村史』 西祖谷山村。
徳島県三好郡郷土史研究会 (2003) : 『三好郡神社取調指上帳』 みよし広域連合。
徳島県三好郡郷土史研究会 (2001) : 『三好郡のお堂とお庵』 三好郡行政組合。
奈良国立文化財研究所編 (1990) : 『徳島県の近世社寺建築 (近世社寺建築緊急調査報告書)』 徳島県教育委員会。
(社) 徳島県建築士会阿波のまちなみ研究会 (1997) : 『阿波の神社建築』 阿波のまちなみ研究会。
山崎禪雄 (1993) : 『東和町誌—資料編— 長州大工 坂本正夫』 山口県大島郡東和町。



図35 池田町医家神社
地神塔 (砂岩)



図36 西祖谷四所神社
地神塔 (自然石)



図37 西祖谷吾橋 五所神社



図38 西祖谷田ノ内 田中神社



図39 西祖谷田ノ内 將軍神社

Architecture of Shrines and Temples in Miyoshi City, Tokushima, Japan

KITSUMOTO Miho*, KUROSAKI Hitoshi, SAKAGUCHI Toshiji, NAKANO Masahiro and MIYATA Yasunori

* 1132, Shimomyou Yamashiro-cho, Miyoshi, Tokushima 779-5453, JAPAN

Proceedings of Awagakkai, No.62 (2019), pp.69-81.

